

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025 年 7 月 8 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部 経済学科
留学(渡航)した時の学年	3 年生
帰国年月日	2025 年 6 月 13 日
明治大学卒業予定年月	2027 年 3 月
留学先大学について	
留学先国	イギリス
留学先大学	ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院(日本語名) University of London The School of Oriental and African Studies(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2024 年 8 月～2025 年 6 月
留学先大学で在籍した学年	年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 9 月下旬～12 月中旬 2 学期: 1 月上旬～3 月下旬 3 学期: 4 月下旬～6 月中旬 4 学期: 6 月下旬～9 月上旬
学生数	6200 人
創立年	1916 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (ポンド) (1 現地通貨 = 200 円)	B 日本円	備考
授業料	3000	600000 円	
宿舍費	9000	1800000 円	
食費	1500	300000 円	
図書費		円	
学用品費	20	4000 円	
携帯・インターネット費	80	16000 円	
現地交通費	150	30000 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
旅費(留学中)	3000	600000 円	
被服費	50	10000 円	
医療費	1500	300000 円	虫歯にかかりました。NHS でなかったの で、日本の保険に請求しました。
保険費	550	110000 円	形態: 大学指定のもの
渡航旅費	1500	300000 円	
ビザ申請費	1000	200000 円	
雑費	800	160000 円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	22150 (=4430000 円)	4430000 円	
総計(A+B) ※円	4430000 円		

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：東京 目的地：ロンドン 経由地：なし	
復路 出発地：ロンドン 目的地：東京 経由地：北京	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社： 料金：	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：JAL 料金：200000 復路 航空会社：中国国際航空 料金：100000 ∴合計：300000	
航空券購入方法	
☐ 旅行代理店(店名：) ☒ インターネット(サイト名： 公式サイト、trip.com) ☐ その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)	
☒ 学生寮(寮の名前： Dinwiddy house) ☐ アパート ☐ ホームステイ	
2) 部屋の形態	
☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)	
3) 共有部分	
☐ バス ☐ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 住居を探した方法：	
大学からの紹介	
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
いくつか寮の候補がありますがここが最安でした。バストイレは部屋ごとにあるので衛生面的にありがたかったです。キッチンも共用で、治安はフラットメイトによるので運です。日本人留学生はここに多く住むので仲間を作りやすいです。他の寮に住んでいる人もいましたが、SOASに通う学生はこの寮が最も多いと思います。ロンドンのど真ん中なので高いですが、SOASに通うなら良い方かと思います。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: 歯医者)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

大学で治安に関しては最初にレクチャーがあった。友人と情報共有した。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

Wi-Fi やネット環境は基本問題がないがキングスクロス駅前にはネット環境が悪くあまり SIM が使えなかった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本から持って行ったクレジットカードとデビットカードで全て対処した。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

日本のお菓子や食料(高くてなかなか現地で買えない)

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
120(credit)単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☐ 出発前 ☒ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☒ 履修の制限があった: 登録の時点で留学生が取れる科目一覧が送られてきます	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Contemporary Japanese Society	現代日本社会
科目設置学部・研究科	School of Languages, Cultures and Linguistics
履修期間	term1
単位数	15
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回
担当教授	Dr Griseldis Kirsch
授業内容	現代の日本社会について様々なトピックごとに学習
試験・課題等	レポート 2 本
感想を自由記入	日本人にとっては既知の内容が多いですが、トピックによって様々。リーディングが必須でないので、英語の授業を初めて履修する人におすすめ。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
The World in London		ロンドンの世界
科目設置学部・研究科	School of Languages, Cultures and Linguistics	
履修期間	term1	
単位数	15	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	レクチャー、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回	
担当教授	Dr Keya Anjaria、Adam Rodgers Johns、Leif Garinto	
授業内容	ロンドンについて歴史や地区について学ぶ	
試験・課題等	エッセイ、ジャーナル	
感想を自由記入	ロンドンの歴史や地区ごとの歴史について学ぶ。ロンドンがいかに多文化を包摂して発展してきたのか理解できた。同時に現在に繋がる問題も浮き彫りになってロンドンへの理解が深まった。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Elementary Statistics		初等統計学
科目設置学部・研究科	Department of Economics	
履修期間	term1	
単位数	15	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	レクチャー、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回	
担当教授	Angelos Diamantopoulos	
授業内容	初歩的な統計学	
試験・課題等	クイズ(テスト)2 回、レポート	
感想を自由記入	始めは非常に初歩的な統計学だが、中盤から難易度が上がる。予習をし問題への理解をチュートリアルまでに十分にし、わからないことは一つ一つチュートリアルで解決して次の授業に進んだ。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Chinese 1 A		中国語 1A
科目設置学部・研究科	School of Languages, Cultures and Linguistics	
履修期間	term1	
単位数	15	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	レクチャー、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回	
担当教授	Zhaoxia Pang	
授業内容	初歩的な中国語	
試験・課題等	テスト 2 回	
感想を自由記入	初歩的な中国語だが、発音などをかなり飛ばして進めるのでよく復習する必要がある。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Chinese 1 B		中国語 1B
科目設置学部・研究科	School of Languages, Cultures and Linguistics	
履修期間	term2	
単位数	15	
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	レクチャー、チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回	
担当教授	Zhaoxia Pang	
授業内容	Chinese 1 A の続き	
試験・課題等	テスト 2 回、音読録音テスト 1 回	
感想を自由記入	Chinese 1 A の続きである。進みが早いので復習が必要。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Cool Japan: Manga, Anime, Sushi	クールジャパン
科目設置学部・研究科	School of Languages, Cultures and Linguistics
履修期間	term2
単位数	15
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー、チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回
担当教授	Mr. Declan Prout
授業内容	日本のクールジャパンといわれるアニメや漫画などの文化について
試験・課題等	レポート 2 本
感想を自由記入	クールジャパンというが、その本質や歴史について学ぶ。アニメがどのように海外で受容され、どのような要因から成功しているかなどそれぞれのカルチャーを分析していく。大英博物館に行き、日本展示の意図を探ることもあった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
East Asian Imperialisms	東アジア帝国主義
科目設置学部・研究科	School of Languages, Cultures and Linguistics
履修期間	term2
単位数	15
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	レクチャー、チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回
担当教授	Dr Owen Miller, Dr Satona Suzuki, Dr Desmond Cheung
授業内容	中国、日本、韓国についてそれぞれ戦時期の動きや問題などを学ぶ
試験・課題等	レポート 2 本
感想を自由記入	日中韓それぞれの簡単な歴史と戦時中の問題を学ぶ。日本について、戦時期の歴史は高校で習うことも多いが、問題点(他国での虐殺)についてはかなり日本の高校までの教育では取り扱われないことが多い。週によってはリーディングが 100 頁を越えるので計画的に事前に前倒して進めるといい。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)	
K-Culture		韓国文化	
科目設置学部・研究科	School of Languages, Cultures and Linguistics		
履修期間	term2		
単位数	15		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	レクチャー、チュートリアル (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1 週間に 60 分が 2 回		
担当教授	Dr. Anders Karlsson, Dr. Owen Miller		
授業内容	韓国文化について 1900 年代のものから現代のものまで		
試験・課題等	レポート 2 本		
感想を自由記入	韓国文化の中の日本の影響について学べた。韓国の文化だが戦時中など特に日本の影響を受けているため日本を他国視点で見れて勉強になった。韓国が現在抱える社会問題がよく文化にあらわれていて興味深かった。		

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☒就職 ☐進学 ☐未定 ☐その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学のために就活を 1 年おくらせました。留学で様々な経験をして思い描いていたキャリアプランに変化がでたので、結果的におくらせて正解だったと思います。就活が原因で留学をためらっているならぜひ渡航してみるといいと思います。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	IELTS 受験
	10 月 ～ 12 月	学内選抜
留学開始年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	ビザ取得など
	8 月 ～ 9 月	渡航
	10 月 ～ 12 月	
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

留学のテーマが「日本社会の欧州視点からの再考」であったので、世界最大級のアジア研究機関であるこの SOAS を選びました。この大学はアジアとアフリカ研究、開発学で有名で、留学に来ている人もほとんどそのような分野に関心のある人ばかりです。特に開発学は有名で、商社や外務省志望の学生が多かったです。社会人で留学に来ている方も多く、新聞社など社会問題への関心の高い方が多いです。

ロンドンについて、非常にいい立地でヨーロッパ諸国を周遊したり、様々な文化に触れるのに最適な場所だと感じます。文化の中心地だけあり、基本にお金さえあれば大体のものはそろいます。とはいえ物価は非常に高いので、節約や日本から持ってくるものは持ってくるなど努力は必要でした。留学中は為替レートがとて高かったので、お金のやりくりには苦労しました。多額の奨学金を頂ける制度などは多くあるのでぜひ活用して下さい。

留学生活はわからないことばかりではじめは特にとても大変だと思います。友人や知り合いとの繋がりは本当に助けになります。周りの人との助け合いを大切にするといいと思います。

留学は本当に大変なことが多いです。私は海外経験が一切なかったため本当に右も左もわからず苦労しました。でもとてもいい経験でしたし、意外と何とかなります。何かありましたらお気軽にご連絡ください。